

令和2年度第1回幕別町地域公共交通確保対策協議会議案

【書面会議】

1 報告事項

報告第1号 幕別町地域公共交通確保対策協議会委員の変更について

報告第2号 令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会事業報告について

報告第3号 令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会歳入歳出決算報告
及び監査報告について

報告第4号 (1) コミュニティバスの運行実績について
(2) コミュニティバス夏期間中に係る休日試験運行の実績について

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について

2 議 案

議案第1号 令和2年度幕別町地域公共交通確保対策協議会予算(案) について

議案第2号 幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

幕別町地域公共交通確保対策協議会委員名簿

	区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
1	幕別町	会長 伊藤 博明	幕別町	副町長	
2	北海道運輸局帯 広運輸支局長が 指名する者	酒井 啓友	帯広運輸支局	首席運輸企画 専門官	新
3	北海道十勝総 合振興局長が 指名する者	千葉 敬貴	十勝総合振興局地域政策部 地域政策課	課長	
4	関係する道路 管理者が指名 する者	谷津 臣則	帯広開発建設部道路計画課	課長	
5		寺越 孝則	十勝総合振興局帯広建設管理部 事業室地域調整課	課長	新
6	帯広警察署長 が指名する者	浅野 慎哉	帯広警察署交通第一課	課長	新
7	一般旅客自動 車運送事業者 の代表	長沢 敏彦	十勝バス株式会社	旅客事業本部長	
8		加藤 貴志	北斗タクシー有限公司	統括課長	
9		桑島 亮	エイシン運輸有限公司	代表取締役	
10	住民又は利用 者の代表	高畠 政由	幕別地区公区長代表	宝町公区長	
11		工藤 伸	札内地区公区長代表	あかしや南2公 区長	
12		中村 由治	札内地区公区長代表	途別公区長	
13		高嶋 甲爾	南幕別地区公区長代表	糠内市街公区長	
14		佐藤 博志	忠類地区公区長代表	忠類錦町公区長	
15		藤原 治	幕別町商工会	会長	
16		林 郁男	幕別町社会福祉協議会	会長	
17		宇佐美美知子	幕別町民生委員児童委員協議会	副会長	
18		永井ケイ子	幕別町消費者協会	監査	
19		小野 敦	幕別町PTA連合会	会長	新
20		岡田 益美	幕別町老人クラブ連合会	会長	
21		尾藤 欣二	幕別町障害者（児）団体連絡協議会	会長	
22	その他協議会 が必要と認め る者	中村 清作	北海道地方交通運輸産業労働組合協 議会十勝地区交通運輸産業労働組合 協議会	事務局長	

報告第1号 幕別町地域公共交通確保対策協議会委員の変更について

2	所 属	役 職	氏 名
旧	北海道運輸局帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	笹治 忍
新	北海道運輸局帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	酒井 啓友

5	所 属	役 職	氏 名
旧	十勝総合振興局帯広建設管理部 事業室地域調整課	課長	橋本 雄太
新	十勝総合振興局帯広建設管理部 事業室地域調整課	課長	寺越 孝則

6	所 属	役 職	氏 名
旧	帯広警察署交通第一課	課長	高木 健康
新	帯広警察署交通第一課	課長	浅野 慎哉

19	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町PTA連合会	会長	岡田 義行
新	幕別町PTA連合会	会長	小野 敦

報告第2号 令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会事業報告について

月 日	事業名	事業内容・協議事項等
令和元年6月8日	第1回協議会	○報告 1 協議会委員の変更について 2 平成30年度事業報告について 3 平成30年度決算報告及び監査報告について 4 ①コミュニティバスの運行実績について ②コミュニティバス冬季休日試験運行について 5 予約型乗合タクシーの運行実績について ○議案 1 コミュニティバス夏期間中に係る休日試験運行の実施について 2 フィーダー系統確保維持計画の策定について
令和元年9月13日	第2回協議会 (書面会議)	○議案 1 コミュニティバスの運賃について 2 予約型乗合タクシー（駒畠線、古舞線）の運賃について
令和2年2月28日	第3回協議会 (書面会議)	○議案 1 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

報告第 3 号 令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会歳入歳出決算報告について

歳 入 (単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	1, 182, 000	538, 429	△643, 571	1 町補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	8	8	1 預金利息
合 計			1, 182, 000	538, 437	△643, 563	

歳 出

款	項	目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 運営費	1 会議費	1 会議費	590, 000	84, 300	△505, 700	1 委員報酬・旅費 84, 300
	2 事務費	1 事務費	130, 000	0	△130, 000	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	462, 000	453, 697	△8, 303	1 休日試験運行代 451, 697
						2 コミバス回数券(産業まつり用) 2, 000
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	440	440	1 振込手数料 440
合 計			1, 182, 000	538, 437	△643, 563	

歳入合計 5 3 8 , 4 3 7 円
歳出合計 5 3 8 , 4 3 7 円
差引残額 0 円

令和 2 年 5 月 13 日 提出

幕別町地域公共交通確保対策協議会
会長 伊藤 博明

令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会監査報告について

令和元年度幕別町地域公共交通確保対策協議会歳入歳出決算について、令和2年5月13日に監査を行い、貯金通帳、諸帳簿と決算書を照合した結果、いずれも適正であると認めます。

令和2年5月13日

監査委員 永井 ケイ子

監査委員 岡田 益美



報告第4号 (1)コミュニティバスの運行実績について

令和元年度のコミュニティバスの運行実績について、次のとおり報告する。

		H31. 4月 22日間	R01. 5月 19日間	R01. 6月 20日間	R01. 7月 22日間	R01. 8月 21日間	R01. 9月 19日間	前期合計 123日間	
幕別線	乗車人数	441人	431人	438人	419人	417人	523人	2,669人	
	1日平均	20.0人	22.7人	21.9人	19.0人	19.9人	27.5人	21.7人	
	1便平均	4.0人	4.5人	4.4人	3.8人	4.0人	5.5人	4.3人	
	運賃収入	24,650円	13,700円	20,750円	21,850円	26,500円	22,500円	129,950円	
札内線	順周り	乗車人数	487人	435人	504人	479人	341人	412人	2,658人
		1日平均	22.1人	22.9人	25.2人	21.8人	16.2人	21.7人	21.6人
		1便平均	4.4人	4.6人	5.0人	4.4人	3.2人	4.3人	4.3人
		運賃収入	28,200円	19,600円	34,800円	24,700円	16,600円	28,950円	152,850円
	逆周り	乗車人数	413人	333人	369人	371人	289人	379人	2,154人
		1日平均	18.8人	17.5人	18.5人	16.9人	13.8人	19.9人	17.5人
		1便平均	4.7人	4.4人	4.6人	4.2人	3.4人	5.0人	4.4人
		運賃収入	30,750円	27,950円	19,900円	21,900円	16,600円	22,900円	140,000円
	計	乗車人数	900人	768人	873人	850人	630人	791人	4,812人
		1日平均	40.9人	40.4人	43.7人	38.6人	30.0人	41.6人	39.1人
		1便平均	4.5人	4.5人	4.9人	4.3人	3.3人	4.6人	4.3人
		運賃収入	58,950円	47,550円	54,700円	46,600円	33,200円	51,850円	292,850円
	合計	乗車人数	1,341人	1,199人	1,311人	1,269人	1,047人	1,314人	7,481人
		1日平均	61.0人	63.1人	65.6人	57.7人	49.9人	69.2人	60.8人
		1便平均	4.4人	4.5人	4.7人	4.1人	3.6人	4.9人	4.3人
		運賃収入	83,600円	61,250円	75,450円	68,450円	59,700円	74,350円	422,800円

		R01. 10月 22日間	R01. 11月 20日間	R01. 12月 21日間	R02. 1月 19日間	R02. 2月 18日間	R02. 3月 21日間	後期合計 121日間	
幕別線	乗車人数	629人	645人	911人	683人	769人	504人	4,141人	
	1日平均	28.6人	32.3人	43.4人	35.9人	42.7人	24.0人	34.2人	
	1便平均	5.7人	6.5人	8.7人	7.2人	8.5人	4.8人	6.8人	
	運賃収入	26,100円	32,900円	41,650円	43,000円	33,550円	29,800円	207,000円	
札内線	順周り	乗車人数	636人	658人	734人	677人	822人	622人	4,149人
		1日平均	28.9人	32.9人	35.0人	35.6人	45.7人	29.6人	34.3人
		1便平均	5.8人	6.6人	7.0人	7.1人	9.1人	5.9人	6.9人
		運賃収入	32,150円	32,000円	39,550円	28,800円	41,600円	23,000円	197,100円
	逆周り	乗車人数	382人	440人	519人	388人	471人	320人	2,520人
		1日平均	17.4人	22.0人	24.7人	20.4人	26.2人	15.2人	20.8人
		1便平均	4.3人	5.5人	6.2人	5.1人	6.5人	3.8人	5.2人
		運賃収入	21,000円	32,600円	36,000円	45,150円	37,450円	19,300円	191,500円
	計	乗車人数	1,018人	1,098人	1,253人	1,065人	1,293人	942人	6,669人
		1日平均	46.3人	54.9人	59.7人	56.1人	71.8人	44.9人	55.1人
		1便平均	5.1人	6.1人	6.6人	6.2人	8.0人	5.0人	6.1人
		運賃収入	53,150円	64,600円	75,550円	73,950円	79,050円	42,300円	388,600円
合計	乗車人数	1,647人	1,743人	2,164人	1,748人	2,062人	1,446人	10,810人	
	1日平均	74.9人	77.1人	103.0人	92.0人	114.6人	68.9人	89.3人	
	1便平均	5.3人	6.2人	7.4人	6.6人	8.2人	4.9人	6.4人	
	運賃収入	79,250円	97,500円	117,200円	116,950円	112,600円	72,100円	595,600円	

(参考)

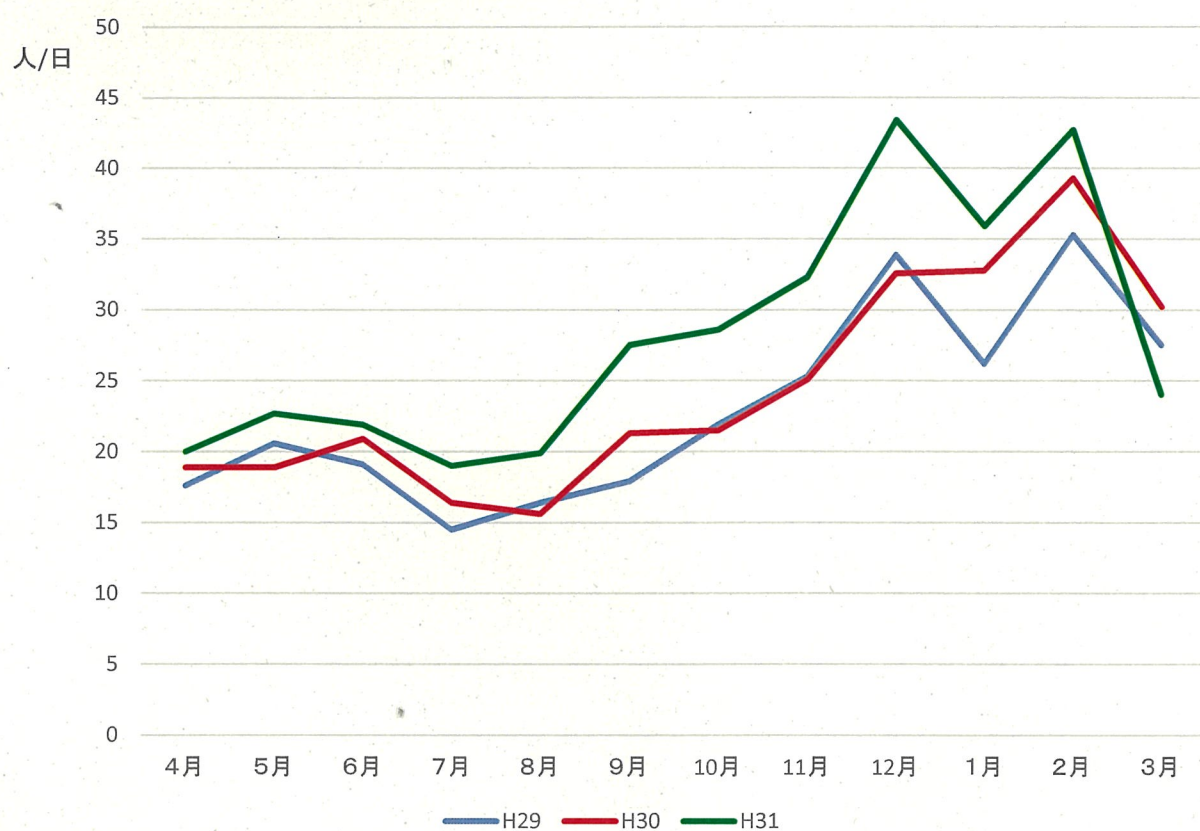
(参考)		H29年度 合計 245日間	H30年度 合計 243日間	R元年度 合計 244日間	
幕別線	乗車人数	5,614人	5,868人	6,810人	
	1日平均	22.9人	24.1人	27.9人	
	1便平均	4.6人	4.8人	5.6人	
	運賃収入	289,040円	275,800円	336,950円	
札内線	順周り	乗車人数	8,495人	7,007人	6,807人
		1日平均	34.7人	28.8人	27.9人
		1便平均	6.9人	5.7人	5.6人
		運賃収入	494,840円	268,550円	349,950円
	逆周り	乗車人数		2,698人	4,674人
		1日平均		22.5人	19.2人
		1便平均		5.6人	4.8人
		運賃収入		267,500円	331,500円
	計	乗車人数	8,495人	9,705人	11,481人
		1日平均	34.7人	51.3人	47.1人
		1便平均	6.9人	5.7人	5.2人
		運賃収入	494,840円	536,050円	681,450円
	合計	乗車人数	14,109人	15,573人	18,291人
		1日平均	57.6人	64.1人	75.0人
		1便平均	5.8人	5.4人	5.4人
		運賃収入	783,880円	811,850円	1,018,400円

【説明】

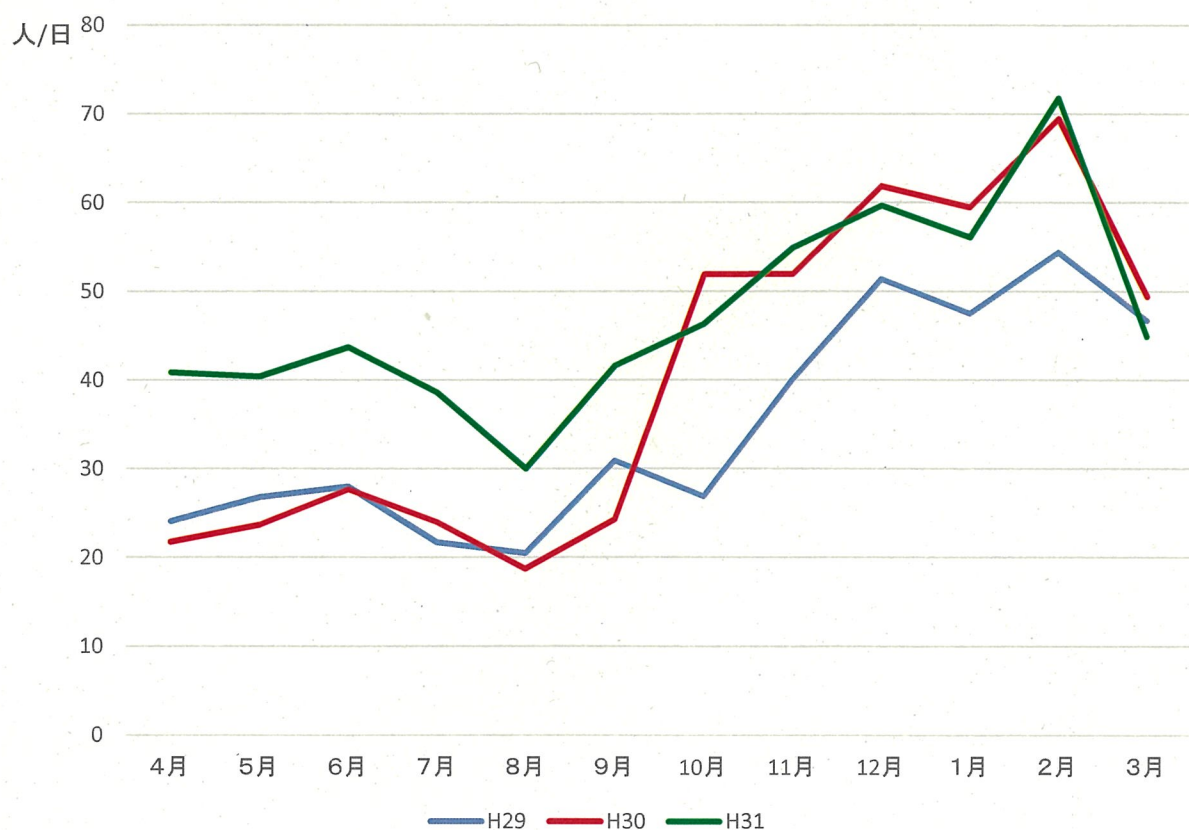
○幕別線においては、延べ乗車人数・1便平均共に増加傾向にある。

○平成30年10月から札内線逆回り便が運行開始され1日5便から9便に増加したことに伴い、札内線1便平均は減少しているが、延べ乗車人数は増加傾向にある。

過去3年間の1日当たりの乗車人数(幕別線)



過去3年間の1日当たりの乗車人数(札内線)



○コミバスに係る経費等推移

【平成29年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	国庫補助	車両費		
	18,255		5,556		796	11,903
コミバス(幕)	4,692	4,133	804	910	301	6,810
コミバス(札・順)	5,297	4,133	2,932	910	495	5,093
コミバス(札・逆)						
計	9,989	8,266	3,736	1,820	796	11,903

【平成30年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	国庫補助	車両費		
	19,720		3,690		824	15,206
コミバス(幕)	4,775	2,066	565	449	288	5,539
コミバス(札・順)	5,480	2,066	2,227	449	269	4,601
コミバス(札・逆)	3,191	2,142	0	0	267	5,066
計	13,446	6,274	2,792	898	824	15,206

※令和元年10月から札内逆回り増便

【令和元年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	国庫補助	車両費		
	19,930		9,061		1,043	9,826
コミバス(幕)	4,967	0	786	428	351	3,402
コミバス(札・順)	5,527	0	2,181		355	2,991
コミバス(札・逆)	5,153	4,283	2,181	3,485	337	3,433
計	15,647	4,283	5,148	3,913	1,043	9,826

【説明】

○前年度と比較し、町補助金が大きく減少している理由として、札内線逆回りの国庫補助金の増額や、幕別線・札内線順回りの車両減価償却に伴う経費の減が主な要因となっています。

(2)コミュニティバス夏季休日試験運行実績について(令和1年7月実施)

1 便

	土曜(4日)	日・祝(5日)	計(9日)	参考(同月平日)
幕別線	0.3人/日	0.6人/日	0.4人/日	5.5人/日
札内線(順)	0.0人/日	0.6人/日	0.3人/日	4.7人/日
札内線(逆)	-	-	-	-

2 便

	土曜(4日)	日・祝(5日)	計(9日)	参考(同月平日)
幕別線	3.8人/日	4.2人/日	4.0人/日	5.4人/日
札内線(順)	5.0人/日	3.8人/日	4.3人/日	6.1人/日
札内線(逆)	1.8人/日	1.8人/日	1.8人/日	4.7人/日

3 便

	土曜(4日)	日・祝(5日)	計(9日)	参考(同月平日)
幕別線	5.3人/日	2.8人/日	3.9人/日	3.5人/日
札内線(順)	0.8人/日	0.8人/日	0.8人/日	4.7人/日
札内線(逆)	3.5人/日	1.6人/日	2.4人/日	5.3人/日

4 便

	土曜(4日)	日・祝(5日)	計(9日)	参考(同月平日)
幕別線	1.0人/日	1.2人/日	1.1人/日	2.5人/日
札内線(順)	1.8人/日	2.0人/日	1.9人/日	4.0人/日
札内線(逆)	1.0人/日	1.8人/日	1.4人/日	2.6人/日

5 便

	土曜(4日)	日・祝(5日)	計(9日)	参考(同月平日)
幕別線	1.0人/日	1.2人/日	1.1人/日	2.1人/日
札内線(順)	0.8人/日	2.8人/日	1.9人/日	2.3人/日
札内線(逆)	1.3人/日	0.8人/日	1.0人/日	4.6人/日

○令和元7月休日運行実績

		土曜日 (4日間)	日曜日 (5日間)	計 (9日間)	同月平日 (22日間)	平日との 日平均差
幕別線	乗車人数	41人	50人	91人	419人	
	1日平均	10.3人	10.0人	10.1人	19.0人	△ 8.9人
札内線(順)	乗車人数	33人	49人	82人	472人	
	1日平均	8.3人	9.8人	9.1人	21.5人	△ 12.4人
札内線(逆)	乗車人数	28人	29人	57人	368人	
	1日平均	7.0人	5.8人	6.3人	16.7人	△ 10.4人
計	乗車人数	102人	128人	230人	1,259人	
	1日平均	25.5人	25.6人	25.6人	57.2人	△ 31.6人

【説明】

○全線において平日平均よりも乗車人数が少なく、全線合計で平日平均の50%以下という結果となりました。

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について
令和元年度の予約型乗合タクシーの運行実績について、次のとおり報告する。

【駒島線】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行可能日数		20日	19日	20日	22日	21日	19日	21日	20日	21日	19日	18日	21日	241日
運行日数		20日	18日	17日	21日	15日	15日	20日	18日	19日	19日	14日	13日	209日
運行回数		47回	37回	33回	42回	27回	33回	35回	38回	36回	42回	29回	30回	429回
利用者数		86人	66人	46人	74人	51人	56人	52人	67人	58人	77人	54人	37人	724人
運行率（日数）		100.0%	94.7%	85.0%	95.5%	71.4%	78.9%	95.2%	90.0%	90.5%	100.0%	77.8%	61.9%	86.7%
運行率（回数）		47.0%	38.9%	33.0%	38.2%	25.7%	34.7%	33.3%	38.0%	34.3%	44.2%	32.2%	28.6%	35.6%
便当たり乗車人数		1.8人	1.8人	1.4人	1.8人	1.9人	1.7人	1.5人	1.8人	1.6人	1.8人	1.9人	1.2人	1.7人
運賃収入		15,700円	13,800円	8,600円	17,700円	9,600円	13,600円	10,200円	13,100円	12,100円	17,300円	10,200円	8,500円	150,400円
運行回数	1便	4	3	2	7	2	2	3	4	3	4	3	4	41
	2便	19	18	17	18	14	14	18	18	19	19	14	11	199
	3便	13	10	9	11	6	12	7	10	9	10	9	9	115
	4便	8	4	2	3	3	3	4	5	4	4	1	4	45
	5便	3	2	3	3	2	2	3	1	1	5	2	2	29
	計	47	37	33	42	27	33	35	38	36	42	29	30	429
利用者数	1便	4	4	2	7	2	2	3	5	4	4	4	5	46
	2便	49	35	27	39	34	33	33	37	40	46	36	16	425
	3便	18	19	12	21	8	16	9	17	9	13	11	9	162
	4便	12	6	2	4	5	3	4	7	4	8	1	5	61
	5便	3	2	3	3	2	2	3	1	1	6	2	2	30
	計	86	66	46	74	51	56	52	67	58	77	54	37	724
利用者内訳	大人		2			0								2
	高齢者	81	55	42	67	44	51	46	61	50	69	48	31	645
	障がい者	5	8	4	7	7	5	6	6	8	8	6	6	76
	小中学生		1											1
	乳幼児													0
	計	86	66	46	74	51	56	52	67	58	77	54	37	724
利用地区内訳	豊岡													0
	猿別													0
	軍岡	17	14		4	2	3	9	4	4	5	1		63
	大豊													0
	明野	18	9	14	11	8	7	1	16	7	10	12	11	124
	新川	1		5	6	2	8	6	3	1	3		1	36
	相川	23	16	13	16	23	12	19	18	20	19	22	6	207
	南勢	2	4		3	1			2	5	6	2	4	29
	新和													0
	五位	6	3	4	6	3	3	2	6	1	2	3	1	40
	糠内								4	4	8	2		18
	明倫										4			4
	美川	7	8	4	8	6	6	6	6	10	10	6	6	83
	中里	12	12	4	16	4	12	8	8	6	8	6	8	104
	駒島			2	4	2	5	1			2			16
	弘和													0
	計	86	66	46	74	51	56	52	67	58	77	54	37	724

○運行実績の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行可能日数	245日	242日	241日
運行日数	212日	219日	209日
運行回数	408回	426回	429回
利用者数	638人	667人	724人
1日当たり乗車人数	3.0人	3.0人	3.5人
便当たり乗車人数	1.6人	1.6人	1.7人
運行率(日数)	86.5%	90.5%	86.7%
運行率(回数)	33.3%	35.2%	35.6%
運賃収入	128,100円	124,400円	150,400円

○経費等の推移（千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行経費	2,663	2,883	3,337
国庫補助	453	289	312
運賃収入	128	124	150
町費補助	2,082	2,470	2,875

【説明】
○過去3年間での比較において、利用者数、1日当たり乗車人数ともに、増加しています。

【古舞線】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行可能日数		20日	19日	20日	22日	21日	19日	21日	20日	21日	19日	18日	21日	241日
運行日数		20日	19日	20日	21日	20日	19日	20日	20日	20日	18日	17日	19日	233日
運行回数		61回	52回	59回	58回	55回	52回	53回	62回	62回	52回	53回	46回	665回
利用者数		139人	122人	140人	131人	125人	119人	121人	121人	129人	113人	105人	63人	1,428人
運行率（日数）		100.0%	100.0%	100.0%	95.5%	95.2%	100.0%	95.2%	100.0%	95.2%	94.7%	94.4%	90.5%	96.7%
運行率（回数）		61.0%	54.7%	59.0%	52.7%	52.4%	54.7%	50.5%	62.0%	59.0%	54.7%	58.9%	43.8%	55.2%
便当たり乗車人数		2.3人	2.3人	2.4人	2.3人	2.3人	2.3人	2.3人	2.0人	2.1人	2.2人	2.0人	1.4人	2.1人
運賃収入		16,100円	13,800円	16,000円	14,500円	14,500円	13,700円	12,900円	13,000円	15,500円	12,800円	12,700円	10,600円	166,100円
運行回数（回）	1便	8	3	4	5	4	3	4	10	10	7	4	3	65
	2便	20	19	20	21	20	19	20	20	20	17	15	16	227
	3便	18	16	14	15	16	17	16	17	17	14	14	15	189
	4便	13	12	14	13	8	9	10	11	9	11	12	4	126
	5便	2	2	7	4	7	4	3	4	6	3	8	8	58
	計	61	52	59	58	55	52	53	62	62	52	53	46	665
利用者数（人）	1便	8	5	4	6	5	4	5	11	12	7	6	3	76
	2便	62	58	66	62	57	58	58	52	61	52	43	26	655
	3便	36	32	32	26	31	33	35	33	30	23	21	17	349
	4便	31	24	27	29	17	14	18	19	18	24	26	6	253
	5便	2	3	11	8	15	10	5	6	8	7	9	11	95
	計	139	122	140	131	125	119	121	121	129	113	105	63	1,428
利用者内訳（人）	大人										2	10	25	37
	高齢者	139	122	140	131	125	119	121	121	129	111	95	38	1,391
	障がい者													0
	小中学生													0
	乳幼児													0
	計	139	122	140	131	125	119	121	121	129	113	105	63	1,428
利用地区内訳（人）	途別						1	1	1	1	1	10	25	40
	上稲士別													0
	日新	64	54	70	60	56	46	52	60	57	57	43	4	623
	昭和	2												2
	依田	15	8	8	16	13	13	15	10	13	10	12		133
	西和													0
	千住	47	46	49	45	40	43	47	41	40	35	32	25	490
	稲士別													0
	新生													0
	中稲士別													0
	豊岡		2		2		2		2					8
	新和	2	8	6	2	12	10	4	5	10	8	4	2	73
	古舞	7	2	7	6	4	4	2	2	8	1	4	5	52
	明倫	2	2											4
	美川										1		2	3
	計	139	122	140	131	125	119	121	121	129	113	105	63	1,428

○運行実績の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行可能日数	245日	242日	241日
運行日数	201日	222日	233日
運行回数	484回	603回	665回
利用者数	799人	1,233人	1,428人
1日当たり乗車人数	4.0人	5.6人	6.1人
便当たり乗車人数	1.7人	2.0人	2.1人
運行率(日数)	82.0%	91.7%	96.7%
運行率(回数)	39.5%	49.8%	55.2%
運賃収入	82,700円	136,700円	166,100円

○経費等の推移（千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行経費	2,321	3,360	3,458
国庫補助	326	382	603
運賃収入	83	137	166
町費補助	1,912	2,841	2,689

【説明】

○過去3年間での比較において、利用者数、1日当たり乗車人数ともに、増加しています。

議案第 1 号 令和 2 年度幕別町地域公共交通確保対策協議会予算(案)について

歳入

(単位：千円)

款	項	目	金 額	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	715	1 町補助金 715
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	
合 計			715	

歳出

(単位：千円)

款	項	目	金 額	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	590	1 委員報酬 458
				2 費用弁償 116
				3 食糧費 16
	2 事務費	1 事務費	125	1 消耗品費 125
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	
合 計			715	

【説明】

○歳入

2 款-補助金、1 項-補助金：町からの補助金です。

○歳出

1 款-運営費、1 項-会議費：協議会の開催に要する費用です。
協議会 4 回を予定しています。

1 款-運営費、2 項-事務費：停留所汚損等の張替代に係る経費です。

議案第 2 号 幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

町コミュニティバス及び予約型乗合タクシーに係る令和 3 年度分(令和 2 年10月 1 日～令和 3 年 9 月30日)の事業計画について、別紙のとおり帯広運輸支局を通じ、国土交通大臣に対して提出するもの

【説明】

令和 3 年度分の国庫補助金上限額は、国交省で協議中のため未定です。

地域内フィーダー系統確保維持計画

(策定年月日) 令和2年5月 日

(協議会名称) 幕別町地域公共交通確保対策協議会
会 長 伊藤 博明

生活交通確保維持改善計画の名称

幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

幕別町の公共交通機関は、ＪＲが幕別～帯広間において、１日13往復運行されている。路線バスについては、十勝バス（株）が帯広陸別線、幕別線、南商あかしや線及び広尾線の４路線を運行しており、ＪＲ、路線バスともに、通学や帯広市への通院、買物等で利用される学生や高齢者にとって重要な交通機関となっている。また、スクールバスが町内で12路線運行されており、農村部に居住する小中学生の通学利用のほか、一般町民も混乗できることから、通院や高校生の通学等にも利用されている。

しかしながら、農村部ではスクールバス運行路線以外の地域や市街地内でも公共交通を利用できない公共交通空白地域が存在し、自家用車による移動が困難な高齢者や障がい者、運転免許証を持たない方などは、「移動」が制約され不便な生活を強いられることとなり、地域社会を維持していくためには大きな障壁となっていた。

このような状況から、今後の少子高齢化の進行による交通弱者の増加や、町内における公共交通空白地域の存在等を踏まえ、効率的で持続可能な公共交通の確保や、公共交通の利便性の向上を図ることを目的として、幕別本町・札内市街地におけるコミュニティバスの導入、農村部では駒畠線と古舞線の予約型乗合タクシーの導入を行ったところである。

このため、地域公共交通確保維持改善事業により、幕別町内における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の買物や通院などの日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、住民の生活の足としての公共交通を存続させていくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たり、以下の目標を設定する。

【目標①】幕別地区・札内地区におけるコミュニティバスの年間利用者数

令和3年度においては、

幕別線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、30.7人/日を目標とする。

札内線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、51.8人/日を目標とする。

令和4年度、令和5年度については、令和3年度の目標を維持することとする。

【目標②】予約型乗合タクシー駒畠線・古舞線の年間利用者数

令和3年度においては、

駒畠線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、3.9人/日を目標とする。

古舞線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、6.7人/日を目標とする。

令和4年度、令和5年度については、令和3年度の目標を維持することとする。

※目標中、平成31年度は、H31.4.1～R2.3.31とする。

(2) 事業の効果

- ・幕別町内における公共交通を維持することにより、高齢者等の交通弱者の買い物・通院等の生活に係る移動を確保することができる。
- ・地域間幹線系統との接続により、広域的な移動を支援することができる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・町民が多く集まる機会でのコミバスの展示、乗車体験、ぬり絵やペーパークラフトの配布。
- ・園児の乗車体験の呼びかけ。
- ・高齢者が多く集まる機会での、出前講座による、コミバス及び予約型乗合タクシーの周知。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者 幕別町から運行事業者へ補助する補助金については、運行経費から国庫補助金を差し引いた差額分を補助することとしている。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称 【コミュニティバス（幕別線・札内線）】十勝バス株式会社 【予約型乗合タクシー駒島線】エイシン運輸有限会社 【予約型乗合タクシー古舞線】北斗タクシー有限会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】 ※対象外
8. 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】 ※対象外
9. 別表1の補助対象事業の基準八に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】 ※対象外
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項【地域間幹線系統のみ】 ※対象外
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】 ※対象外
12. 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付
13. 車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】 札内地区を運行するコミュニティバスについて、利便性向上の為、検討を行った結果、順周り、逆周りの2台運行とすることとしたため、新たに1台、ノンステップ車両を導入する必要があった。
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】 (1) 事業の目標 【目標】幕別地区・札内地区におけるコミュニティバスの年間利用者数 令和3年度においては、 幕別線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、30.7人/日を目標とする。 札内線の乗車人数を平成31年度比10%以上増加とし、51.8人/日を目標とする。 令和4年度、令和5年度については、令和3年度の目標を維持することとする。 ※目標中、平成30年度は、H30.4.1～H31.3.31とする。
(2) 事業の効果 ノンステップバスの導入により、身体の不自由な方や高齢者、車いす利用者の利便性が向上するとともに、新たな車両の導入によるPR効果が期待され、利用者の増加につながると考えられる。
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表6」を添付
16. 老朽更新の代替による不要の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） ※対象外

17. 協議会の開催状況と主な議論	
・令和2年2月28日（第3回） 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について ・令和2年5月25日（第1回） 委員の変更について 平成31年度事業報告について 平成31年度決算報告及び監査報告について コミュニティバスの運行実績について ・コミュニティバス夏期間中に係る休日試験運行の実績について 予約型乗合タクシーの運行実績について 令和2年度幕別町地域公共交通確保対策協議会予算（案）について 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について	
18. 利用者等の意見の反映状況	
協議会、分科会には各種団体等から利用者及び住民を代表する委員として参加いただき、協議会、分科会での議論を反映して計画を作成した。	
19. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課
関係市区町村	幕別町副町長
交通事業者・交通施設管理者等	帯広開発建設部道路計画課、帯広建設管理部事業室地域調整課、帯広警察署交通課、十勝バス株式会社、北斗タクシー有限会社、エイシン運輸有限会社
地方運輸局	北海道運輸局帯広運輸支局
その他協議会が必要と認める者	幕別地区公区長代表、札内地区公区長代表、南幕別地区公区長代表、忠類地区公区長代表、幕別町商工会、幕別町社会福祉協議会、幕別町民生委員児童委員協議会、幕別町消費者協会、幕別町PTA連合会、幕別町老人クラブ連合会、幕別町障害者（児）団体連絡協議会、十勝地区交運労協議会

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）北海道中川郡幕別町本町 130 番地 1

（所 属）幕別町住民福祉部防災環境課交通防犯係

（氏 名）係長 平井 慎也

（電 話）0155-54-6601

（e-mail）kotubohankakari@town.makubetsu.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和3年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
幕別町	十勝バス(株)	(1) 幕別線1	幕別駅前	旭町	幕別駅前	(循環) 9.0km	246 日	738.0 回		路線定期運行	②(1)	十勝バスが運行する帯 広陸別線・幕別線との乗 継ぎを円滑にするため、 バス停留所相互設置(幕 別駅)、ダイヤ設定、乗継 割引の設定を行う。 また、JR根室本線への 接続を行う。	③
		(2) 幕別線2	幕別駅前	緑町	幕別駅前	(循環) 10.5km	246 日	492.0 回		路線定期運行	②(1)	十勝バスが運行する帯 広陸別線・幕別線との乗 継ぎを円滑にするため、 バス停留所相互設置(幕 別駅)、ダイヤ設定、乗継 割引の設定を行う。 また、JR根室本線への 接続を行う。	③
		(3) 札内線	札内支所前	札内駅前	札内支所前	(循環) 29.5km	246 日	2,214.0 回		路線定期運行	②(1)	十勝バスが運行する、 帯広陸別線・幕別線・南 商あかしや線との乗継ぎ を円滑にするため、バス 停留所相互設置(札内、 札内中学校前)、ダイヤ設 定、乗継割引の設定を行 う。 また、JR根室本線への 接続を行う。	③
	エイシン運輸(有)	(4) 駒島線	駒島	南幕別地区	幕別駅	往 km 復 km	246 日	246.0 回		区域運行	②(1)	十勝バス帯広陸別線や JR根室本線に接続のた め幕別駅を乗降とする。	③
	北斗タクシー(有)	(5) 古舞線	美川	西幕別地区	札内支所	往 km 復 km	246 日	363.0 回		区域運行	②(1)	十勝バス帯広陸別線や JR根室本線に接続のた め札内駅を乗降とする。	③

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	幕別町
------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	12,192
交通不便地域	1,545

交通不便地域の内訳

人 口	対象地区	根拠法
1,500	幕別町忠類	過疎地域自立促進特別措置法

地域公共交通網形成計画、地域公共交通再編実施計画の策定年月日

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度

(※参考)

対象人口	算定式	国庫補助上限額
12,192	$12192人 \times \times + 万円 = 0千円$	0 千円

※国土交通省にて調製中

【幕別町 人口集中地区及び交通不便地域】

フィーダー系統接続点
十勝バス 札内バス停
(帯広陸別線・幕別線)

フィーダー系統接続点
十勝バス 幕別駅前バス停
(帯広陸別線・幕別線)

札内地区

幕別本町

人口集中地区

幕別町

交通不便地域
(忠類地区全域)

忠類地区

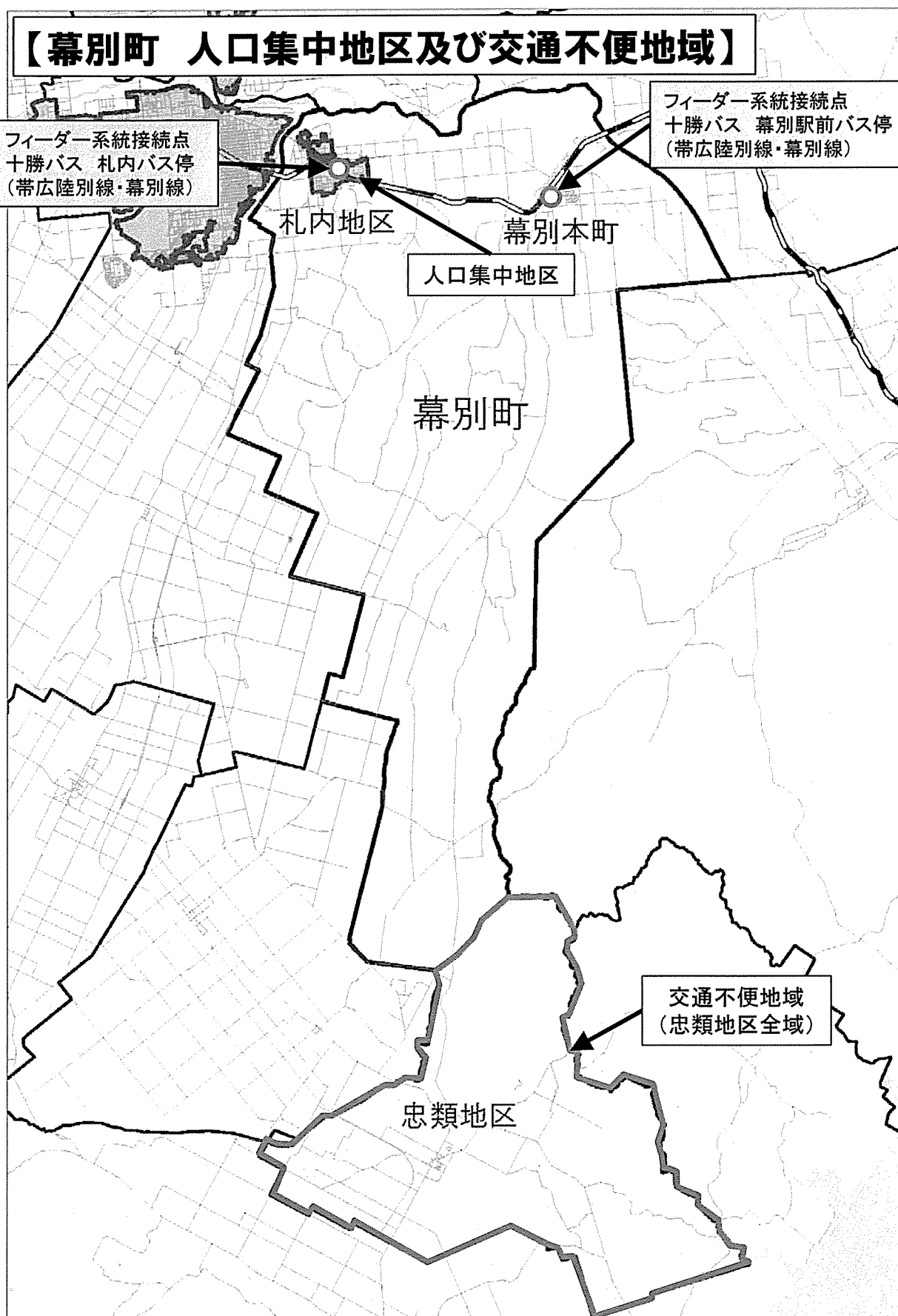


表6 車両の取得計画の概要(地域内フィーダー系統)

市区町村	バス事業者等名	申請 番号	運行の用に供する 補助対象系統名 (申請番号)	補助対象車両の種別			乗車 定員	購入年月	再編 特例 措置	購入等の種 別
				イ	ロ	ハ				
幕別町	十勝バス株式会社	1	(3) 札内線	ノンステップ型	スロープ付	標準仕様	32	H30.10		割賦
		2	()							
		3	()							
		4	()							
		5	()							

(注)

1. 「補助対象車両の種別」については、イ欄にノンステップ型、ワンステップ型又は小型車両の別を、ロ欄にスロープ付き又はリフト付きの別を、ハ欄に標準仕様(ノンステップバス認定要領(平成22年6月4日付け国自技第49号又は平成27年7月2日付け国自技第75号)に基づく認定を受けたもの)又は非標準仕様の別を記載すること。
2. 「乗車定員」については、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両保安基準第24条、第53条)。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けた補助対象系統の運行の用に供する場合のみ「○」を記載する。
4. 「購入年月」については、初年度については購入予定年月を記載すること。
5. 「購入等の種別」については、一括、割賦又はリースの別を記載すること。